

目 次

※健康科学については、学生番号の末尾が偶数の学生は前期に、奇数の学生は後期に履修すること。
(再履修の場合、偶数奇数は問わない)

●健康科学	前期	月 3	(E5~10)	- 1 -
●健康科学	前期	火 4	(La~f・P18~19)	- 2 -
●健康科学	前期	水 1	(D16~17・Tg~j・F27~28)	- 3 -
●健康科学	前期	木 1	(M13~15・K25~26)	- 4 -
●健康科学	前期	木 4	(M11~12・Ta~f)	- 5 -
●健康科学	後期	月 3	(E5~10)	- 6 -
●健康科学	後期	火 4	(La~f・P18~19)	- 7 -
●健康科学	後期	水 1	(D16~17・Tg~j・F27~28)	- 8 -
●健康科学	後期	木 1	(M13~15・K25~26)	- 9 -
●健康科学	後期	木 4	(M11~12・Ta~f)	- 10 -

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001101 授業科目(英語名)	●健康科学 (E5~10) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) E5~10	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
<p>第1回 4月12日 ライフスタイルと健康：糖尿病と痛風</p> <p>第2回 4月19日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患</p> <p>第3回 4月26日 ライフスタイルと健康：タバコと癌</p> <p>第4回 5月10日 アルコールと薬物依存</p> <p>第5回 5月17日 こころの健康</p> <p>第6回 5月24日 青年期の性：エイズと性感染症</p> <p>第7回 6月7日 救急蘇生法</p> <p>第8回 6月14日(最終回) 歯と歯ぐきの健康□</p>			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が偶数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001102 授業科目(英語名)	●健康科学 (La～f・P18～19) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) La～f・P18～19	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時～18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
第1回 4月13日 ライフスタイルと健康：糖尿病と痛風			
第2回 4月20日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患			
第3回 4月27日 ライフスタイルと健康：タバコと癌			
第4回 5月11日 アルコールと薬物依存			
第5回 5月18日 こころの健康			
第6回 5月25日 青年期の性：エイズと性感染症			
第7回 6月1日 救急蘇生法			
第8回 6月8日(最終回) 歯と歯ぐきの健康□			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が偶数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001103 授業科目(英語名)	●健康科学 (D16~17・Tg~j・F27~28) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) D16~17・Tg~j・F27~28	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容 (毎週毎の授業内容を含む) 生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
第 1 回 4月14日 ライフスタイルと健康：糖尿病と痛風 第 2 回 4月21日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患 第 3 回 4月28日 ライフスタイルと健康：タバコと癌 第 4 回 5月12日 アルコールと薬物依存 第 5 回 5月19日 こころの健康 第 6 回 5月26日 青年期の性：エイズと性感染症 第 7 回 6月2日 救急蘇生法 第 8 回 6月9日 (最終回) 歯と歯ぐきの健康□			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が偶数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001104 授業科目(英語名)	●健康科学 (M13~15・K25~26) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) M13~15・K25~26	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容 (毎週毎の授業内容を含む) 生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
第 1回 4月15日 ライフスタイルと健康：糖尿病と運動 第 2回 4月22日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患 第 3回 5月6日 ライフスタイルと健康：タバコと癌 第 4回 5月13日 アルコールと薬物依存 第 5回 5月20日 こころの健康 第 6回 5月27日 青年期の性：エイズと性感染症 第 7回 6月3日 救急蘇生法 第 8回 6月10日 (最終回) 歯と歯ぐきの健康□			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が偶数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001105 授業科目(英語名)	●健康科学 (M11~12・Ta~f) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) M11~12・Ta~f	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容 (毎週毎の授業内容を含む) 生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
第 1 回 4月15日 ライフスタイルと健康：糖尿病と痛風 第 2 回 4月22日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患 第 3 回 5月6日 ライフスタイルと健康：タバコと癌 第 4 回 5月13日 アルコールと薬物依存 第 5 回 5月20日 こころの健康 第 6 回 5月27日 青年期の性：エイズと性感染症 第 7 回 6月3日 救急蘇生法 第 8 回 6月10日 (最終回) 歯と歯ぐきの健康□			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が偶数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001106 授業科目(英語名)	●健康科学 (E5~10) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) E5~10	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
第1回 10月4日 ライフスタイルと健康：糖尿病と痛風			
第2回 10月18日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患			
第3回 10月25日 ライフスタイルと健康：タバコと癌			
第4回 11月1日 アルコールと薬物依存			
第5回 11月8日 こころの健康			
第6回 11月15日 青年期の性：エイズと性感染症			
第7回 11月22日 救急蘇生法			
第8回 11月29日(最終回) 歯と歯ぐきの健康□			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が奇数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001107 授業科目(英語名)	●健康科学 (La~f・P18~19) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) La~f・P18~19	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
第1回 10月5日 ライフスタイルと健康：糖尿病と痛風			
第2回 10月12日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患			
第3回 10月19日 ライフスタイルと健康：タバコと癌			
第4回 10月26日 アルコールと薬物依存			
第5回 11月2日 こころの健康			
第6回 11月9日 青年期の性：エイズと性感染症			
第7回 11月16日 救急蘇生法			
第8回 11月30日(最終回) 歯と歯ぐきの健康□			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が奇数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001108 授業科目(英語名)	●健康科学 (D16~17・Tg~j・F27~28) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) D16~17・Tg~j・F27~28	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容 (毎週毎の授業内容を含む) 生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
第 1回 10月6日 ライフスタイルと健康：糖尿病と痛風 第 2回 10月13日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患 第 3回 10月20日 ライフスタイルと健康：タバコと癌 第 4回 10月27日 アルコールと薬物依存 第 5回 11月10日 こころの健康 第 6回 11月17日 青年期の性：エイズと性感染症 第 7回 11月24日 救急蘇生法 第 8回 12月1日 (最終回) 歯と歯ぐきの健康□			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が奇数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001109 授業科目(英語名)	●健康科学 (M13~15・K25~26) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) M13~15・K25~26	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
第1回 10月7日 ライフスタイルと健康：糖尿病と運動			
第2回 10月14日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患			
第3回 10月21日 ライフスタイルと健康：タバコと癌			
第4回 10月28日 アルコールと薬物依存			
第5回 11月4日 こころの健康			
第6回 11月11日 青年期の性：エイズと性感染症			
第7回 11月18日 救急蘇生法			
第8回 11月25日(最終回) 歯と歯ぐきの健康□			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が奇数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562001110 授業科目(英語名)	●健康科学 (M11~12・Ta~f) Health Science		
対象年次 1年	講義形態 講義科目	教室 [全] 201	
対象学生(クラス等) M11~12・Ta~f	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス / 研究室 / TEL / オフィスアワー 林田 雅希 / hmsk@nagasaki-u.ac.jp / 保健・医療推進センター / 095-819-2212 or 2214 / 火曜日 17時~18時			
担当教員(オムニバス科目等)	林田 雅希		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 主として資料等を用いた講義である。一部には各種測定方法の体験あるいは小テストによる知識・理解度の確認を行う。</p> <p>到達目標: 生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
生活習慣病の予防、タバコと健康、アルコールと薬物依存、心の健康、エイズと性感染症、救急蘇生法、歯と歯ぐきの健康について講義する。			
<p>第1回 10月7日 ライフスタイルと健康：糖尿病と痛風</p> <p>第2回 10月14日 ライフスタイルと健康：動脈硬化性疾患</p> <p>第3回 10月21日 ライフスタイルと健康：タバコと癌</p> <p>第4回 10月28日 アルコールと薬物依存</p> <p>第5回 11月4日 こころの健康</p> <p>第6回 11月11日 青年期の性：エイズと性感染症</p> <p>第7回 11月18日 救急蘇生法</p> <p>第8回 11月25日(最終回) 歯と歯ぐきの健康□</p>			
キーワード	健康、予防、生活習慣病、ライフスタイル、心の健康、青年期の性、救急蘇生、歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。 プリント資料、スライド、ビデオ、事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類、各自の入学時健康診断結果等を使用する。 参考書：「学生と健康」(国立大学等保健管理施設協議会編)		
成績評価の方法・基準等	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、8回の合計にて最終評価を行う。		
受講要件(履修条件)	学生番号の末尾が奇数の学生が受講(再履修の場合、偶数奇数は問わない)		
本科目の位置づけ 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			